



三 宮 十五郎 議員

## 学校給食の調理業務委託の 是正を

**問**

市が給食調理業務を業者委託するに当たり、法令や国の基準を満たしていると考えているか。

どう把握し、どう改善していく考えか。

(2) 配食サービスが必要な人には、毎日提供できるようにならないか。

## 労働局等関係機関 と相談する

**答** 教育長

先進地を参考にしたり、労働局等関係機関と相談しながら、現状のやり方がどうかということを協議していきたい。

## 高齢者や障害者が安心して住めるまちに

**問**

(1) 高齢者の働く場所と条件を整えるために、実情を

(7) 市の遺児手当を国の凍結に倣って、制度を元に戻

すべきではないか。  
(8) 県がやめる福祉支援などについて、市独自の方法も検討してもらいたい。

## 福祉政策がさらに 充実するよう頑張る

**答** 民生部長

(1) 職が確かに少なくなってきたのは事実で、一生懸命仕事を探していることは知っている。

いろいろ考えているが、なかなか難しい現状で、いいアイデアがあったら提案してもらえればありがたい。  
(2) 現在月曜日から土曜日のうち5回を限度に実施している。

当面は現在のサービスを継続していきたい。

(3) 市福祉授産所は今の19人を30人に、十四山福祉授産所は、案だが地域活動支援センターという方向で、定員はそのままと考えているが、相談しながら進めていく。

(4) 方針としてはまだ出ていないので、市として行くのか、このまま他でお願いして一定の支援をするのかということについては、今後の協議になる。

(5) 旧海部南部4カ町村の圏域での雇用関係機関や相談支援事業者、教育機関が参加をして自立支援協議会等を設置する予定である。

そのようなところを通じて支援を図っていきたい。

(6) 施設から地域への移行という大きな流れの中にある障害者施策、急速に進む高齢化等への対応の中で、研究していかなければならない課題という認識はしている。

(7) 県や周辺市町村の動向を注視し、検討していきたい。

**答** 市長

(8) 基本的な福祉政策の考え方としては、自助・共助・公助という精神が必要だろうと思うているが、市としての福祉政策がさらに充実するよう頑張っていく。